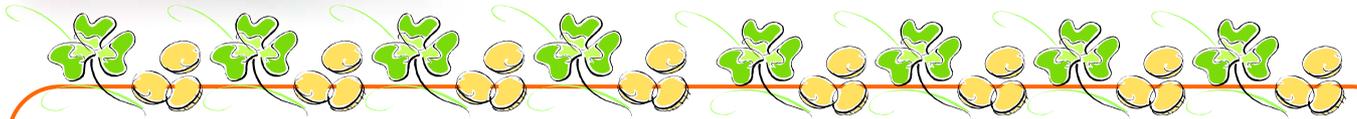




大阪暁明館 だより

2012.Vol.1



2013年4月オープン! 新大阪暁明館病院



2013年4月、大阪暁明館病院は此花区春日出中より西九条駅前、旧大阪市立北市民病院跡地へ新築移転いたします。移転後は150床を増床し、482床の第二次救急病院としてさらなる地域貢献を図ると共に、産婦人科・小児科・耳鼻科の各診療科を増設し、診療内容の充実を図ります。

従来より取り組んでまいりました回復期、慢性期の医療にもさらに幅広く対応し、地域の方々にいっそう利用しやすい病院、喜んでいただける病院を目指します。新病院はJR西九条駅から徒歩2分の至近距離となります。西九条駅には阪神電車も乗り入れておりますので、大阪西部、東阪神のみならず、近鉄沿線の方々にもご利用いただける病院になろうと職員一同、心を一つにしております。

各階構成	各階構成		病床数(床)				合計		
	西	東	西		東				
			個室	4人室	個室	4人室			
11階	栄養科、職員食堂、会議室 医師図書室	医局、法人本部事務局、277号室 スナック更衣室、資材室							
10階	医療療養病棟	医療療養病棟	2	40	27室3	2	40	27室3	
9階	回復期(ハビリ)病棟、中央リハビリ室	回復期(ハビリ)病棟、中央リハビリ室	2	40	—	2	40	—	
8階	障害者療養病棟	急性期(呼吸器・内科)病棟	2	40	27室3	6	32	HCU3	
7階	急性期(整形)病棟	急性期(呼吸器・内科)病棟	6	32	HCU4	6	32	HCU4	
6階	急性期(脳外・泌尿器)病棟	急性期(循環器・内科)病棟	5	32	3CU3	4	32	3CU4	
5階	産科婦人科病棟、NICU	産婦人科外来、検診センター	12	8	NICU2			22床	
4階	急性期(外)病棟、標本室	OP室・HEOP、中央材料部	4	28	ICU4			36床	
3階	泌尿器科・透析センター SAS、薬剤部、外来化学療法	リハビリセンター、臨床検査・病理 アンギオ室							
2階	小児・耳鼻・眼科等診察・処置検査室 放射線像センター、内視鏡室	内科・外科・整形等診察・処置室 生理検査、点検・採血・採尿							
1階	救急外来、副検・望安、富福室 家族控室、医薬品・器械室	玄關、医事課、薬局、地域連携 売店、警備防火、時間外出入口							
			33	220	19	20	176	14	482床

新住所

大阪市此花区西九条5丁目4-8

病床数

急性期263床 回復期リハビリ84床
障害者療養45床 医療療養90床 合計：482床

診療科

内科(循環器、呼吸器、消化器、内分泌、神経)、
外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、泌尿器科、
眼科、小児科、皮膚科、放射線科、麻酔科、リハビリ科、
産婦人科、耳鼻咽喉科、救急部、透析センター

前立腺疾患について

大阪暁明館病院 泌尿器科



前立腺肥大症

一般的に男性は加齢に伴い尿が出にくくなります。その原因の中で最も多いのが、前立腺肥大症です。前立腺は膀胱のすぐ下にあるクルミぐらいの大きさの臓器で、精囊(せいのおう)と一緒に精液をつくる役目を果たしています。この真ん中を通っているのが尿道です。年をとるとつれ前立腺はだんだん肥大していき、尿道が圧迫されるため尿が出にくくなるのです(図1)。

前立腺肥大症になると、尿がすぐ出ない、少ししか出ない、出はじめてから時間がかかる、尿をした後もスッキリせず、残っているような感じがする(残尿感)、トイレから戻ってすぐまた行きたくなり(頻尿)、とくに夜間に行く回数が多い(夜間頻尿)、尿を我慢できずにもらしてしまう(尿失禁)などの症状がみられるようになります。

前立腺肥大症は良性疾患ですので、放っておいても命にかかわることはありません。しかし過活動膀胱を合併して頻尿になることがあるほか、日常生活の上でご不便を感じられることも少なくありませんので、そのような方は治療していただいたほうが良いでしょう。

治療は、尿を出やすくする薬物療法や、前立腺を削る内視鏡手術、あるいはレーザーによる治療などを行います。なお、市販の風邪薬や抗アレルギー薬は尿が出にくくなる場合がありますので、注意が必要です。

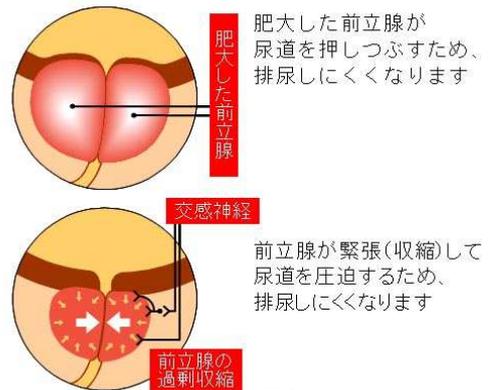


図1

前立腺がん

気をつけなければいけないのは、前立腺がんです。前立腺肥大症が進行してがんになることはありませんが、人によっては前立腺肥大症と共に、前立腺がんが潜んでいることがあるからです(図2)。前立腺がんは、食生活が欧米化するにつれ増えてきており、現在、がん死亡率の伸び率では一番となっています。

前立腺がんは、PSAという腫瘍マーカー(血液検査)で調べることができます。PSAは0~4が正常値、4~10がグレーゾーン、10を超えるとがんの確率が高くなります(図3)。ただこれはあくまでも目安ですので、PSAが50を超えている方でも、がんでない場合もあります。PSA検査の値が高かった場合は、がん生検を行い組織を採取し、がん細胞が見つければMRIやCTで転移していないかどうかを調べます。

治療は、手術による前立腺摘除、男性ホルモンを抑えるホルモン療法、さらには放射線を前立腺に当てる放射線療法などを組み合わせて行います。

前立腺がんは早期発見ほど生存率は高く、進行が比較的遅いがんです。当院でもPSA検査を行っていますので、気になる症状のある方、あるいは50歳を過ぎられた方は、一度受診してみてください。

前立腺肥大症



- ・良性疾患(命を脅かさない)
- ・良性の腺腫が大きくなる
- ・患者さんは中高年に多い

前立腺がん



- ・悪性疾患(進行すると命に関わる)
- ・がん化した細胞が前立腺で増える
- ・患者さんは中高年に多い

前立腺がんが潜伏する疑いがあるかどうかは、血液検査(PSA)でチェックできます。

図2

PSAの値とがんの陽性率



図3



社会福祉法人 大阪暁明館が 「此花区南西部地域包括支援センター」を受託・運営

大阪暁明館 介護施設統括部長 藤原拓哉

高齢の方や、そのご家族からの相談を受けたり、高齢の方の心身の状態に合わせた支援を行ったりする地域の保険、医療、福祉に関する総合的なサービス拠点「地域包括支援センター」。この地域包括支援センターの此花区南西部地域の管理・運営を、このたび社会福祉法人大阪暁明館が担うことになりました。公募により大阪市から委託されたもので、期間は平成24年4月から平成28年3月末までの予定です。

地域包括支援センターの主な役割は次のとおりです。

- ・ 高齢者とその家族のための相談窓口(総合相談支援・権利擁護)
- ・ 地域関係機関や支援者の協力体制づくり(包括的継続的ケアマネジメント支援)
- ・ 介護予防のためのケアプラン作成(介護予防ケアマネジメント)



これらの業務に対して、主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師(看護師)がチームで取り組みます。

高齢者虐待への対応や権利擁護、介護状態になるおそれのある方などに対して、此花区医師会や介護保険事業者などの関係機関と連携し、民生委員や地域ネットワーク委員の方々と協力支援していきます。そのため、スタッフには各種制度や社会資源などの豊富な知識と、地域の関係機関や介護関連施設などでの相談経験が必要で、高い相談援助スキルが求められます。

地域包括支援センターは地域包括ケアの重要な社会資源です。今後、大阪市の出先機関として、大阪暁明館病院や暁明館の他の介護施設と連携を深め、地域福祉の最前線で活動してまいります。

法人としても、さらなるコンプライアンスの強化を図り、地域福祉・地域医療の充実を目的に、新病院と共に地域に根ざした医療・福祉を提供できるよう取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

開放型病床登録医ご紹介

開放型病床登録医…医院・診療所の紹介により入院された患者さまを、当院の医師と共同で診療・治療するために、あらかじめご登録頂いている医院・診療所の先生のことです。

しらはま内科クリニック

内科・消化器内科・心療内科
院長 白浜 健太郎
消化器病学会専門医
消化器内視鏡学会専門医



病気は予防や早期発見が大事であると同時に、患者さまの心理的、社会的側面もみていかないとなかなか治癒しません。そういったことを念頭に医療を実践し、皆さまの健康に寄与できればと考えています。

	月	火	水	木	金	土
9～12時	●	●	●	/	●	●
17～19時30分	●	/	●	/	●	☆

※ 土曜午後(☆)は 14～17 時で診療しています。
※ 日曜・祝日・木曜・火曜午後休診

〒552-0004 大阪市港区夕凧1-1-6
電話 06-6573-6322 FAX 06-6573-6377
<http://www.shirahama-clinic.com/>
■地下鉄中央線「朝潮橋駅」7番出口を出て、港通りを北東へ徒歩約10分。

かも眼科

眼科
院長 加茂 雅朗
眼科学会認定眼科専門医
医学博士



白内障の日帰り手術をはじめ、レーザーによる治療なども積極的に行っております。またコンタクトレンズも取り扱っておりますので、眼に関することなら何でもお気軽にご相談下さい。

	月	火	水	木	金	土
9～12時	●	●	●	/	●	●
13時30分～16時	/	★	/	/	/	/
16時30分～18時30分	●	●	●	●	●	/

※ 日曜・祝日・木曜午前・土曜午後休診
★ 日帰り手術

〒554-0012 大阪市此花区西九条1-32-17
電話 06-6225-8268 FAX 06-6225-8638
■阪神なんば線「西九条駅」2階



健康レシピ

大阪暁明館病院 栄養科

「キャベツスープ」

キャベツには、ビタミンK、ビタミンC、葉酸、食物繊維総量が多く含まれます。大きめの葉を2〜3枚ほど食べるだけで、1日の必要ビタミンCをカバーできます。ビタミンCは、体の免疫力を高め、風邪にかかりにくくしたり、シミやそばかすの予防、色白を保つなどの美肌効果があります。さらにビタミンUも豊富に含まれています。ビタミンUは、荒れた胃腸を元気にしたり、胃や腸の粘膜の新陳代謝を活発にして、腸の調子を整え便秘予防にもなったりします。春キャベツは、大きさの割に持った感じが軽いものを、寒玉キャベツは、持ってみてぎっしりと重いものを選ぶとおいしいです。

材料(1人前)

- ・キャベツ60g(1.5枚) ・豚ロース肉(薄切り)25g
- ・人参10g ・きのこ類(しめじ、えのきなど)10g、
- ・干しいたけ1個 ・かつおだし大さじ1/4、
- ・淡口醤油大さじ1/4 ・にんにく、塩、こしょう少々



エネルギー 104kcal 塩分2.0g

作り方

- ①干しいたけをぬるま湯で戻す。
- ②キャベツ、人参、豚肉、きのこ類、戻した干しいたけを食べやすい大きさに切る。にんにくは薄切りにする。
- ③しいたけのもどし汁に水を足して1.5カップとし、鍋に入れる。かつおだしを合わせ、にんにくと②の具材を入れ火にかけ、煮立ったらアクを取る。
- ④野菜がしんなりしてきたら、淡口醤油、塩、こしょうで味を調える。

小児科開設致します!

平成24年4月4日(水)より
水曜・金曜の午前診・午後診

「しんどくて来た子も、
笑顔で帰ってもらう!」を
モットーにがんばります。

■担当医

西屋 克己

奈良県立医科大学卒業

日本小児科学会専門医、日本感染症学会専門医

石川 智朗

奈良県立医科大学卒業

日本小児科学会専門医



■診療日

	月	火	水	木	金	土
午前	/	/	西屋	/	石川	/
午後	/	/	西屋	/	石川	/

※小児科のお薬は院内調剤となっております。

—看護部長ごあいさつ—

このたび鹿児島から大阪暁明館病院の仲間に加えさせて頂きました友清尚子と申します。

私たち看護部は新病院への移転を1年後に控え『変えよう・変わろう変革の時 看護の進歩は病院の進歩』をスローガンに、「いかなる状況の患者様にも最高の知識・技術と人間味のある暖かい看護を提供し、患者様とともに歩んでいける看護を目指していきたい」と考えております。お気づきの点がございましたらどうぞ遠慮なく私やスタッフに生の声をお届け頂けましたら大変嬉しく思います。どうぞ宜しくお願い致します。



大阪暁明館だより

平成24年3月24日発行

社会福祉法人 大阪暁明館
大阪暁明館病院

〒554-0022 大阪市此花区春日出中 1-22-12

電話(06)6462-0261(代表)

FAX(06)6462-0362

<http://www.gyomeikan.or.jp>